

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330412106	生活科研究 (1単位)	福江 厚啓			1	必修	1前期

科目の概要

この科目では、講義および体験的な活動の演習を通し、生活科の特性・目標・内容等についての基礎的な理解と認識を身に付ける。また、幼児教育から連なる環境を通じた学び、子どもの文脈に沿った学びの重要性について理解を深める (DP2,3)。これにより、誰も取り残されない豊かな生活科の授業づくりをするうえで必要な感覚と技能を養う (DP3,5,6)。

具体的には、2つの体験活動を通じて内なる子ども心も喚起し、それを振り返ることで、学び手と教師の双方の立場に立つことができるようにする (DP3) とともに、自分と向き合い自分らしさを認め、今後の協働の基盤となる自他の受容を構築する (DP5,6)。また、グループワークや全体での交流を通じて、自他の表現のよさやそれらを交流することの豊かさを理解し、併せて生活科と、生涯続く「学び」の本質との連続性を実感として理解し、実践できる (DP1,6) ようにする。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領に示されている生活科の特性や目標及び内容等について理解する。 ② 授業実践の実際を通して、生活科の学習活動が子どもにどのような資質・能力を育むのかについて考える。 ③ 体験活動における課題への取り組みを通して、自分と向き合い、自分の思いや願いを表現する。 ④ 自分らしさを発揮してグループや仲間と協働的に課題を解決し、その成果を聞き合う。	① 学習指導要領に示されている生活科の特性や目標及び内容等について理解している。 ② 授業実践の実際を通して、生活科の学習活動が子どもにどのような資質・能力を育むのかについて考えることができる。 ③ 体験活動における課題への取り組みを通して、自分と向き合い、自分の思いや願いを表現することができる。 ④ 自分らしさを発揮してグループや仲間と協働的に課題を解決し、その成果を聞き合うことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	・授業内容を自分自身の経験と結びつけて理解しようとし、グループワークで自ら発言することができる。 ・体験活動の課題やレポートに主体的・能動的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	体験活動の課題において、自分の考えや思いを伝えるために粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	体験活動の課題やレポートにおいて、自分に必要な情報は何かを考え、収集することができる。
	計画力	体験活動の課題やレポートにおいて、見通しをもって計画的に取り組むことができる。
	創造力	体験活動の課題において、自分の思いや願いをよりわかりやすく効果的に表現するための方法を探し、具現化することができる。
チームで働く力	発信力	自分の思いや願い、考えを、グループや全体に対してわかりやすく伝えることができる。
	傾聴力	講義、発表やグループワークにおいて真摯に耳を傾け、相手の考えを理解しようとすることができる。
	柔軟性	グループワークにおいて、自分と異なる意見や価値感のよさに目を向け、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	
	規律性	授業でのルールおよびマナーを守り、仲間とともに高め合う配慮ができる。
	ストレスコントロール力	活動における自己開示の経験を通じ、高め合う仲間として胸襟を開くことができるようになる。

テキスト及び参考文献

テキスト 文部科学省「小学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説 生活編」東洋館出版社、2018年
参考文献や資料は適宜紹介、配布する。

他科目との関連、資格との関連

本科目は学科専門科目の教科及び教科の指導法に関する科目である。本科目で生活科の目標や学習内容について理解した上で、1年次後期の「生活科教育法」では、具体的な指導法や学習展開を扱う。

関連資格：保育士、幼稚園教諭、小学校教諭

学修上の助言	受講生とのルール
体験活動の課題に対して自分の願いを大事に、計画的に取り組ましましょう。最初の一步を踏み出すと意欲が出てきます。必要な材料や用具は自分で用意してください。2つの体験活動の課題の提出は必須です。たとえ遅れてでも提出されない場合、この科目の単位は取得できません。	授業中、携帯やスマートフォンはバッグ等に片付け、マナーモードにするか電源を切っておいてください。 なお、使用可能な活動もありますので、その際には、教員から説明します。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		30	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
④							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			50	①			
				②	✓		
	③			✓			
	④			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	20	①				
			②				
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①レポート、リフレクション(対話カード)：指導方法や指導姿勢の意味や価値に言及できていればA、総合的に、他教科と異なる生活科の教科特性を捉えており優れている点があればS。</p> <p>②レポート、リフレクション(対話カード)：子ども、教師双方の立場について具体例をあげて分かりやすく言及できていればA、その中で学習指導要領の趣旨と自分の経験を関連させるなど顕著に優れている点があればS</p> <p>③体験活動の課題：2つの課題において、オリジナリティがあり自分らしさを表現できていればA、さらにその中で顕著に意欲的である等優れている点があればS。</p> <p>④グループワークの参加度：他者の意見を傾聴し、常に積極的に自分の意見を発信し、かつグループ内の意見を集約できればS、他者の意見を傾聴し、これを踏まえて自分の意見を発信できればA。</p>	<p>①レポート、リフレクション(対話カード)：指導方法や指導姿勢に言及できていればB、具体的方法論のみにとどまる場合はC。</p> <p>②レポート、リフレクション(対話カード)：子ども、教師いずれかの立場について具体例をあげて分かりやすく言及できていればB、抽象的であればC。</p> <p>③体験活動の課題：2つの課題において、自分らしさを表現できていればB、提出することができればC。</p> <p>④グループワークの参加度：自分の意見を言語化できればB、自分の意見をもつことができればC。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーションを通し、この科目の進め方や成績評価等について理解する。 ・自分の受けた生活科の授業や低学年の頃のできごとを思い出し、グループ・全体で聞き合い共有する。	講義・質疑応答 グループワーク	・グループワークを通し、自他の経験した生活科の内容を共有することができる。 ・生活科の内容について思い出したり、その理由を考えたりすることができる。	(予習)自分が受けてきた生活科の授業を思い起こし、どのような授業で、どのような活動を行ったか共有できるようにしておく。 (復習)授業の内容から、生活科がどのような教科であるかについて考え、まとめる。 ・自分の身の回りの春に目を向け、レポートを作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
2	「生活科って何だろう？」 ・前回の振り返りと生活科の教科書分析から、生活科の意義と特色について考える。	講義・質疑応答 グループワーク	生活科の教科目標の趣旨、内容構成のポイント教科書の表現や構成から読み取ることができる。	(予習)テキストを読んでおく。 (復習)生活科の教科目標の趣旨、内容構成のポイントをまとめる。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	「生活科における学びとは」 ・子どもの文脈と遊び・暮らしについて、事例を通して考える。	講義・質疑応答 グループワーク	・個に応じることと学級集団で学び合うことについて、教師の立場に立ち、子どもの文脈や暮らしと結びつけて方法を考えようとしている。	(予習)テキストを読んでおく。 (復習)授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。	45	主体性 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	体験編「初夏のがっこう・まちたんけん」① ・季節見つけから広がる学びの可能性について、活動を通して考える。	フィールドワーク 講義・質疑応答	・活動を通して活動・学習の意欲が生まれてくることを実感的に理解している。 ・次回の活動に見通しをもっている。	(予習)テキストを読んでおく。 (復習)授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 柔軟性 ストレスコントロール力
5	体験編「初夏のがっこう・まちたんけん」② ・繰り返し活動することの意義を考える。	フィールドワーク 講義・質疑応答	・繰り返し活動することで、思いや願いが明確になり次の活動につながっていくことを体験を通して理解している。 ・「見通し」のよさとともに、そのデメリットについても考えることができる。	(予習)テキストを読んでおく。 (復習)授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 柔軟性 ストレスコントロール力
6	体験編「初夏のがっこう・まちたんけん」③ ・自然素材を使ってじこしょうかいを作ろう。 ・内容(6)「自然やものを使った遊び」のうち、自然を使った遊びのねらいと内容について理解する。	フィールドワーク 質疑応答	・自分の思いや願いに応じた自然素材を用いて表現できる。 ・自分と向き合い、自分らしさを表現しようとしている。	(予習)前回までの経験を想起し、自己紹介に使えそうな自然物がどこにあるか考えておく。 (復習)次回までに「自然素材でじこしょうかい」作品を作成し完成しておく。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 ストレスコントロール力
7	体験編「初夏のがっこう・まちたんけん」④ ・自然素材を使ったじこしょうかいで交流する。 ・他者のよさを見つけたり、自分の表現力のよさを感じたりする。	発表・聞き合い	・「自然素材でじこしょうかい」を発表することができる。 ・他者のよさを見つけたり、自分の表現力のよさを感じたりすることができる。	(予習)「自然素材でじこしょうかい」作品を完成し発表できるようにしておく。 (復習)活動を通して味わった感情を振り返り、言語化しまとめておく。	45	主体性 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	生活科の実践から① ・内容(9)「自分の成長」のねらいと内容について理解する。 ・授業の実践例を通して、子どもの学びについて分析する。 ・「自分物語」の作成について見通しを立てる。	講義・質疑応答・演習	・生活科の授業における「振り返り」の意義について理解している。	(予習)テキストを読んでおく。 (復習)授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。また、次回授業までに「自分物語」の内容や表現・作成方法といった構想を考え、材料を準備する。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	体験編「自分物語を創ろう」① ・自分自身を見つめ、物語を作成する。	演習・質疑応答	・自分の人生を踏まえ、自分らしい方法で「自分物語」を作成しようとしている。	(予習) 「自分物語」の内容や表現・作成方法といった構想を考え、材料を準備しておく。 (復習) 発表の第14回目授業までに「自分物語」を作成しておく。必要に応じ、自宅で資料収集をしたり家族を取材したりする。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	生活科の実践から② ・スタートカリキュラムと保幼小連携の実践について理解する。 ・授業の実践例を通して、子どもの学びについて分析する。	講義・質疑応答 グループワーク	・実際の事例から、スタートカリキュラムの意義を読み取ることができる。 ・実践の分析を通して、その学習活動が子どものどのような資質・能力を育成しているのかについて自分の考えをもつことができる。	(予習) テキストを読んでおく。 (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをノートにまとめる。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
11	・内容(1)「学校と生活」のねらいと内容について理解する。 ・授業の実践例を通して、子どもの学びについて分析する。	講義・質疑応答 グループワーク	・内容(1)のねらいと内容のポイントをテキストから読み取ることができる。 ・授業実践の分析を通して、その学習活動が子どものどのような資質・能力を育成しているのかについて自分の考えをもつことができる。	(予習) テキストを読んでおく。 (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをノートにまとめる。	45	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	・内容(3)「地域と生活」内容(4)「公共物や公共施設の利用」のねらいと内容について理解する。 ・授業実践の動画を視聴し、子どもの学びについて分析する。	講義・質疑応答 グループワーク	・内容(3)および(4)のねらいと内容のポイントをテキストから読み取ることができる。 ・授業実践の分析を通して、その学習活動が子どものどのような資質・能力を育成しているのかについて自分の考えをもつことができる。	(予習) テキストを読んでおく。 (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをノートにまとめる。	45	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	・内容(7)「動植物の飼育・栽培」のうち、飼育に関するねらいと内容について理解する。 ・授業実践の動画を視聴し、子どもの学びについて分析する。	講義・質疑応答 グループワーク	・動物の飼育に関するねらいと内容のポイントをテキストから読み取ることができる。 ・授業実践の分析を通して、その学習活動が子どものどのような資質・能力を育成しているのかについて自分の考えをもつことができる。	(予習) テキストを読んでおく。 (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをノートにまとめる。	45	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	体験編「自分物語を創ろう」② ・「自分物語」を見合い、互いの表現内容や方法のよさ、自分や仲間のよさを感じる。 ・内容(8)「生活や出来事の伝え合い」のねらいと内容について理解する。	発表・聞き合い	・「自分物語」を発表することができる。 ・他者の表現内容や方法のよさを見つけたり、自分や仲間のよさを感じたりすることができる。 ・内容(8)のねらいと内容のポイントを読み取ることができる。	(予習) 「自分物語」を完成させるとともに、発表できるように準備をする。 (復習) 自分や仲間のよさについて振り返り、言語化してまとめておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 ストレスコントロール力
15	・科目の学修全体を振り返り、生活科の学習活動が子どもにどのような資質・能力を身に付けるのか、その際教師はどうあるべきかについて考える。	グループワーク 聞き合い	・生活科の学習活動が子どもにどのような資質・能力を身に付けるのか、その際教師はどうあるべきかについて、具体例をあげ、最終レポートで述べることができる。	(予習) これまでのノートを見返しておく。 (復習) 最終レポートを作成する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力